

競技注意事項

1 競技規則について

- (1) 2026 年度 WA 競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって実施する。
- (2) 競技会における広告および展示物規程については、2026 年度日本陸上競技連盟規程を適用する。

2 練習会場使用について

- (1) 受付時間：8 月 21 日（金）15:00～
- (2) 受付場所：正面受付テント
- (3) 練習会場に入る前に受付を済ませ、ADカード等を受け取ってください。
- (4) 練習にあたっては、競技役員の指示に従うこと。競技者・監督・コーチ以外は入らないこと。
- (5) 練習会場におけるチューブやメディシングボール、ミニハードル、ラダー等の用具を使用しての練習は禁止とする。
- (6) ハードルは、時間によってセッティングを調整することがある。
- (7) 使用時間帯

	本競技場		補助競技場	
	トラック	フィールド	トラック	フィールド
8 月 21 日（金）	トラック種目 ハードル種目 (15:00～18:30)	跳躍種目 (15:00～18:30) 砲丸投(15:00～18:30) <u>やり投(15:00～17:00)</u> <u>円盤投(17:00～18:30)</u>		<u>ハンマー投のみ</u> <u>(15:00～18:00)</u>
8 月 22 日（土）	トラック種目 ハードル種目 (8:30～9:30)	<u>男子棒高跳のみ</u> <u>(9:00～10:15)</u>		<u>走幅跳/三段跳のみ</u> <u>(7:30～18:00)</u>
8 月 23 日（日）	トラック種目 ハードル種目 (8:00～9:00)	<u>女子棒高跳のみ</u> <u>(8:00～9:00)</u>		<u>走幅跳/三段跳のみ</u> <u>(7:30～11:00)</u>

(8) トラック使用区分

	本競技場		補助競技場
	種目	レーン	
8 月 21 日（金）	中長距離/競歩	1・2 レーン	
	短距離	3～6 レーン	
	110mH/100mH	ホームストレート 7・8 レーン	
	400mH	第1 曲走路～バック 7・8 レーン	
8 月 22 日（土） 8 月 23 日（日）	中長距離/競歩	1・2 レーン	レーン区分なし 順走での使用のみ
	短距離	3～6 レーン	
	110mH/100mH	ホームストレート 7・8 レーン	
	400mH	第1 曲走路～バック 7・8 レーン	

(9) 雨天練習場（バックスタンド下）について

- ①JOG、流しのみで、用器具の使用は不可とする。
- ②200m スタート側から 1500m スタート側への一方通行とする。
- ③競技開始後の出入りは、北側出入口のみとする。

3 招集について

(1) 招集所は、競技場第2 ゲート外側付近（100m スタート外側）に設ける。

(2) 競技者は、招集開始時刻に招集所で待機し、最終点呼を受けること。

その際、アスリートビブス・衣類・商標等の競技場内への持ち込み物品の点検を受けること。

競技	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド	競技開始45分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始90分前	競技開始80分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。

(4) 競技会当日に棄権する場合は、招集完了時刻 30 分前までに「欠場届」を競技者係に提出すること。

(5) 携帯電話等、【競技規則 TR6. 3. 2】に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。

(6) 代理人による点呼は認めない。複数種目を同時に兼ねる競技者は、「多種目同時出場届」を競技者係に提出し、競技の進行に支障のないようにすること。

(7) リレー競技のチームの編成は、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までに正式に申告すること。一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。各チームは申告された競技者がその順番で走らなければならない。【競技規則 TR24. 13】

4 競技について

(1) トラック競技について

- ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ②短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走る。
- ③【競技規則 TR16. 7】に基づき、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
- ④衣類運搬は行わない。

(2) フィールド競技について

- ①競技の計測は、光波距離計測器を使用する。
- ②助走路の外側に主催者が準備したもの、または承認したマーカーを2個まで使用することができる。

【競技規則 TR25. 3】

- ③三段跳の踏切板は、男子は砂場から 13m の地点に、女子は砂場から 10m の地点に設置する。
- ④競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ⑤競技が行われる近接のスタンドに「コーチ席」を設ける。
- ⑥審判員の許可なく、競技者は競技の進行中に競技場所を離れることはできない。【競技規則 TR25. 19】
- ⑦走幅跳・三段跳び及び投擲種目の試技は2回（TOP8 は+2回）とする。また、走高跳・棒高跳びは、2回連続無効試技で競技終了とする。

(3) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできないが、フィールド種目に出場している競技者が、録画再生機器や録画映像は録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば、競技区域内に持ち込むことが認められる。画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションをとりながら録画再生機器を手にしても良い。

【競技規則 TR6. 4. 5】

(4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。

警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

(5) スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、スパイクの数は11本以内とし、その長さは9mm以下とする。ただし走高跳・やり投は12mm以下とする。

(6) バーの上げ方について

①走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	以後
走高跳（男子）	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	3cmずつ
走高跳（女子）	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	3cmずつ
棒高跳（男子）	任意の高さ	4m00	4m20	4m40	4m60	4m70	4m80	10cmずつ
棒高跳（女子）	任意の高さ	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	10cmずつ

②天候、その他の特殊条件によって変更する場合のバーの上げ方は、審判長が決定する。

③棒高跳の公式練習はゴムバーを使用する。練習は1回とする。

6 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。
 なお、投擲用具の持ち込みを希望する場合は、当日競技開始 120 分前から 90 分前（※ただし、やりについては 150 分前から 120 分前）までの間に、第 3 ゲート付近用器具庫にて申し出ること。検査に合格した用具は預かり証発行の上、一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。競技終了後に用器具庫で返却する。
- (2) 棒高跳のポールについては個人所有のものを使用できるが、競技開始前に競技場所において、競技役員が検査を行う。
- (3) 棒高跳ポールの発送・受付は行わないので、各自で対応すること。
- (4) 競技場に用意してある投擲用具については、次の通りである。

	種 別	製造元	品 名	WA 認証番号	カラー	数量	合計
砲丸	男子(7.260kg)	N I S H I	Shot 7.260kg, Steel. dial25.5mm	I-99-0087	Silver	2	8
			Shot 7.260kg, Steel. dial20.0mm	I-16-0794	Silver	2	
			Shot 7.260kg, Steel. dial29.0mm	I-99-0083	Silver	4	
	女子(4.000kg)	N I S H I	Shot 7.260kg, Steel. dial103.0mm	I-99-0089	Silver	2	5
			Shot 7.260kg, Steel. dial109.0mm	I-99-0083	Silver	3	
円盤	男子(2.000)	N I S H I	Super, steel rim FRP sides	I-99-0078	Black/Red/White	3	6
			Super, HM steel rim FRP sides	I-02-0225	Purple/Black/White	3	
	女子(1.000kg)	N I S H I	Super, steel rim FRP sides	I-99-0086	Black/Red/White	3	5
			Super, HM steel rim FRP sides	I-02-0086	Purple/Black/White	2	
ハンマー	男子(7.260kg)	N I S H I	Steel and Tangusten, dia : 110.0mm	I -99-0079	Orange	3	3
	女子(4.000kg)	N I S H I	Steel and Tungsten, Dia 95.0mm	I-19-0942	Orange	3	3
やり	男子(800g)	N I S H I	SUPER DR(80m)	I-01-0236	Silver/Yellow, Red cord	2	3
		N O R D I C	Super Elite 800 NXS	I-99-0020	Black/white. red cord	1	
	女子(600g)	N I S H I	SUPER DR(70m)	I -01-0235	Silver/Yellow, Red cord	4	5
		N E M E T H	Classics 75m	I-99-0110	Violet/Yellow/red. violet cord	1	

7 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、主催者が用意したものを、そのままの大きさと胸・背部に固定すること。

ただし、跳躍種目の競技者については、どちらか一方でよい。【競技規則 TR5.7】

鳥取県	1～199	島根県	201～399	岡山県	401～599 1401～
広島県	601～799 1601～	山口県	801～999		

- (2) トラック競技の競技者は、腰ナンバー標識を指示された場所に貼り付けること。【競技規則 TR5.10】
- (3) 男・女 1500m・5000m・3000SC・5000mW は胸・背も別アスリートビブス標識を着ける。招集時に競技者係より受け取り、フィニッシュ地点で返却すること。

8 競技方法について

- (1) 走幅跳と三段跳において、招集完了時点で出場競技者が 24 人以下の場合、1 ピットで実施する場合がある。
- (2) 番組編成は、参加資格記録のみで行う。

9 表彰について

- (1) 各種目 3 位までの入賞者に賞状とメダルを授与する。
- (2) 表彰は決勝結果アナウンス後直ちに行うので、3 位までの入賞者は、速やかにメインスタンド玄関ホール表彰者控所に集合すること。多種目出場等で表彰に出られない場合は、必ず代理人を出すこと。

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は、アナウンスおよび広島陸上競技協会HP (<https://hiroshimatf.org/>) に掲載する。
- (2) 発表された結果に対する抗議および競技中の抗議の運用は次の通りとする。【競技規則 TR8】
 - ①定められた時間内（次のラウンドが行われる場合には、アナウンス後 15 分以内、それ以外は 30 分以内）に、競技者自身または代理人が、審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金 2 万円を添え、担当総務員を通じて、 Jury に文書で申し出る。
 - ②競技中の抗議については【競技規則 TR8】に基づき、審判長が判断する。

11 その他

- (1) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。なお、医務室はメインスタンド 1 階に設置されている。
- (2) ウレタン舗装以外の部分を通るときは、スパイクシューズは脱ぐこと。
- (3) 更衣室はメインスタンド 1 階に設けている。更衣室は更衣のみに使用し、更衣後の荷物は各自で管理すること。
- (4) 競技場外のジョギングコースは、スパイクの使用、ハードルの設置及び逆走は禁止する。あくまでも、一般利用者優先のため、注意して使用すること。
- (5) 競技者に対する助力については、【競技規則 TR6】を適用する。

12 競技会における広告規程

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規定」を適用する。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

※ 詳しくは以下の URL から日本陸連のサイトをご確認ください。

https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202604/01_134733.pdf